

第147回教育研究評議会議事要録

日 時 平成29年5月15日（月）14時00分から15時47分まで
場 所 医学部本部棟5階 大会議室
陪 席 千家監事
欠席者 大平副学長，山崎評議員，川向評議員

- ・第146回の教育研究評議会議事要録について議決された。

議 題 1. 名誉教授の称号授与について

山口医学部長から資料1により平成29年3月28日に死亡退職した教員に対し本学名誉教授称号授与規則第4条の規定により称号授与を提案すること，その推薦理由について説明があり，原案どおり議決された。

協議事項 1. 島根大学の「新学事暦」（案）について

武田副学長から2月の教育研究評議会で協議事項となっていたこの件について，4月の教育研究評議会で審議する予定だったものを，各学部から出された意見を基に再検討し，今回資料2により「新学事暦」の案としてA案「クォーター制」，B案「フレックス・ターム制」，C案「フレックス・ターム制改定バージョン」を提案し，再度協議するとの説明があった。前回提案されていたA案，B案に加え，今回新たに提案されたC案の特徴と実施した場合の課題について説明があった。各案を学部持ち帰りとし，各学部において意見を集約し，5月29日の学長・学部長等連絡会で意見交換を行ったうえで，6月の教育研究評議会で審議することとした。

報告事項

学長から，報告事項については，「会議の効率的な開催について（申し合わせ）」に基づき特に説明が必要な事項について報告する旨の説明があり，以下について報告があった。

報告事項2「セキュリティ診断の実施結果について」は資料4により，報告事項「標的型メール訓練の実施結果について」は資料5により，秋重理事から報告があった。

報告事項5「島根大学海外派遣学生支援制度による奨学金の現状と課題」は資料7により出口副学長から奨学金の支給状況について報告があった。引き続き出口副学長から追加資料「留学生Iターン就職促進プログラム」により東洋大学とコンソーシアムを組んでプログラムに応募し採択されたことについて報告があった。

報告事項6「島根大学支援基金の収支状況について」は資料8により藤田理事から支援基金の繰越額が年々減少していることについて報告があり，基金への寄付協力の依頼があった。

その他の報告事項として，学長より「デュアルユース」について，日本学術会議の「軍事的安全保障研究と見なされる可能性のある研究について，その適切性を目的，方法，応用の妥当性の観点から技術的・倫理的に審査する制度を設けることが望まれる」との

研究機関への要望を受け、本学では制度を検討中であることから、今年度の防衛省等への研究費の申請は認めないとしたことについて報告があった。評議員から大学の研究活動全般の倫理規程等の制度も検討出来ないかとの意見があった。

続いて学長より地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議において、隣接する大学間での再編・統合、定員削減が検討されていることから、今後他大学との差別化により島根大学の存在意義を示す必要があること、経済財政諮問会議からは、大学のガバナンスの強化を進めるよう求められていることについて報告があった。また、教・教分離を検討するWGを立ち上げ、来年度からの新組織体制を目指すとの報告があった。